

事業計画書(提案の概要)

募集施設の名称	きのもと交遊館
---------	---------

申請者	所在地	長浜市木之本町木之本1118番地
	団体名	K-ZOHN運営協議会
	代表者氏名	会長 林 源栄

指定管理料提案額	令和6年度 : 5,530,000 円 令和7年度 : 5,530,000 円 令和8年度 : 5,530,000 円 令和9年度 : 5,530,000 円 令和10年度 : 5,530,000 円
----------	--

1 管理運営についての基本方針等

(1) 施設の管理運営についての基本方針	① 法令及び市条例等を遵守し、公平で適正な管理運営をめざす。 ② 利用者の安全性、利便性、快適性を確保するため、清掃、整備、安全管理に努める。 ③ 地域に潜在する「市民力」を掘り起こし、市民の地域づくり活動を支援するための北部地域の拠点施設となる。
(2) 指定管理者を希望する理由・目的	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度から11年間、当該施設の指定管理を行った経験を活かす。 北部地域の地域づくりや協働推進の拠点としての役割を担える事業運営をめざす。
(3) 施設の課題とその対応	<ul style="list-style-type: none"> イベント時の駐車場 (対応) 近隣の空き地、小学校の駐車場等の借用 警備会社委託による駐車場誘導・安全対策

2 組織体制・職員配置等

(1) 管理運営の組織体制	事業計画書のとおり
(2) 管理運営に係る職員配置及び今後の採用計画	
(3) 人材育成の考え方や職員の研修計画等	

3 利用促進等

(1)施設の利用促進に向けた具体的な取組(施設の特徴を活かした自主事業の展開を含む。)及び達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 1階ロビーの「まちなか休憩所」としての解放、「交遊館カフェ」の開設 歴史・地域文化に係る資料等の展示 市主催事業、地域行事、市民のサークル活動等への支援 地域小中学校の地域探訪研修等の教育の場としての活用 (達成目標) R6年度入館者数 7,200人 R10年度入館者数 8,000人
(2)地域・関係機関・ボランティア等との連携についての方策	<ul style="list-style-type: none"> 地元各種協議会・実行委員会・市民グループ等との交流、連携きのもと交遊館イベントへの参加・協力、市民グループ実施イベントの支援、市民グループ間をつなぐ拠点としての働き 地域の学校等との連携、体験学習や発表会等実施の支援 奥びわ湖観光ボランティアガイド協会との連携 交遊館での展示案内、体験学習等のまちなか案内
(3)施設のPRや情報提供など広報活動についての効果的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 1階ロビー「まちなか休憩所」での来館者との交流の中でのPR 「木之本まちあるきMAP」の活用 きのもと交遊館ホームページの拡充

4 サービス向上等

(1)利用者からのニーズの把握方法	<ul style="list-style-type: none"> 交遊館通常利用者・イベント来場者へのアンケート調査 きのもと交遊館来場者との交流の中での気づき
(2)利用者等からの苦情等に対する対応	<ul style="list-style-type: none"> 例規等との整合、コンプライアンス遵守の下での対応 対応マニュアルの作成 苦情情報の共有、対応の均一化 運営委員会への報告、再発防止策の検討
(3)その他サービスの質を維持・向上するための取組	<ul style="list-style-type: none"> 運営委員会での問題・課題検討 施設利用時の事前準備 申込み、問合せ等への的確な対応 モットーは「おもてなし」

5 施設の管理運営

(1)施設の管理運営における経費節減のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 館内空調の温度管理、点検整備の徹底 照明器具のLEDへの切替え 待機電力の抑制 グリーンカーテン等の導入
(2)利用料金の設定及び設定根拠	事業計画書のとおり
(3)維持管理業務(清掃・保守点検・警備等)の内容、方法、頻度、今後の修繕計画等	<ul style="list-style-type: none"> 日常の清掃、点検の徹底 休館日、夜間の施設警備は、警備会社に委託 閉館時の施錠、消灯、防火の確認徹底 防火管理者の設置、消防計画の提出、消防設備法定点検の実施 修繕の必要が生じた場合の早期対応

6 その他

(1) 利用者の個人情報 を保護するための 取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長浜市個人情報保護条例の遵守 ・ 事務所・ロッカー等の施錠徹底 ・ 守秘義務の遵守 ・ 個人情報を記した書類はシュレッダー廃棄 ・ パソコン等のロック機能強化、ウイルス対策ソフトの更新
(2) 施設の管理運営に おける環境に配慮 した取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ コピー用紙は再生紙を使用。基本両面使用 ・ リサイクルの徹底 ・ 空調機器の温度設定 ・ 施設美化に心がけ、まちなみ景観との調和に努める。
(3) 防災、防犯その他 緊急時(災害・事故 等)の対応及び危 機管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急事態発生時に備える管理体制の整備 ・ 防火・防災訓練への参加
(4) 同様・類似の業務 の実績等	特になし

7 自由提案

<p>その他施設の管理運 営業務を効果的・効率 的に推進していくた めに提案したいこと、貴 団体の独自性やアピ ールしたいこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構成団体の特徴を生かした商工業・観光振興・地域振興事業の展開 ・ 地元学校の体験学習・地域探訪の企画・支援 ・ 「交遊館カフェ」の開設 ・ 「1日カフェ」実施による新たな店舗開設につながるサポート ・ 「まちなかふれあいコンサート」の実施 ・ 市民活動グループや個人とのつながり、それぞれのグループのネットワ ーク拠点としての働きが可能
---	---

事業計画書

1 管理運営についての基本方針等

(1) 施設の管理運営についての基本方針を提示してください。

当該施設を管理運営するにあたり、次の3点を基本方針とします。

- ① 日々業務において法令および市条例等を遵守し、公平で適正な施設の管理運営をめざします。
- ② 利用者の安全性、利便性、快適性を確保するため、日々の清掃、整備、安全管理に努めます。
- ③ 市民の憩いの場、交流の場としての利活用を促進することで、地域に潜在する「市民力」を掘り起し、市民の地域づくり活動を支援するための北部地域の拠点施設となります。

(2) 指定管理者を希望する理由・目的を提示してください。

平成25年度から11年間、当該施設の指定管理者として適切な施設管理に努め、施設利用の促進を図ってきました。また、市民活動交流の場の提供・支援、イベントの実施、空き家活用相談所開設等、多様な業務の運営を展開してきたことで、地域内外に対し効果的に施設の知名度の向上に貢献してきました。

こうした経験を踏まえ、市民による地域づくり活動を支援することによって地域と行政が一体となった地域コミュニティの醸成に寄与し、北部地域の元気の創造を促すとともに、これまで培った「おもてなし」のノウハウをもって、市民や来場者にとって利用しやすい施設運営につなげていきます。

さらに、当協議会が市の移住・定住業務を継続することにより、今後、市北部の広域的視点に立った取り組み等を展開できるものと確信しており、「きのもと交遊館」を、地元の貸館施設とするだけでなく、広く北部地域の地域づくりや協働推進の拠点としての役割を担えるような事業運営をめざし、指定管理を希望いたします。

(3) 施設の課題とその対応について提示してください。

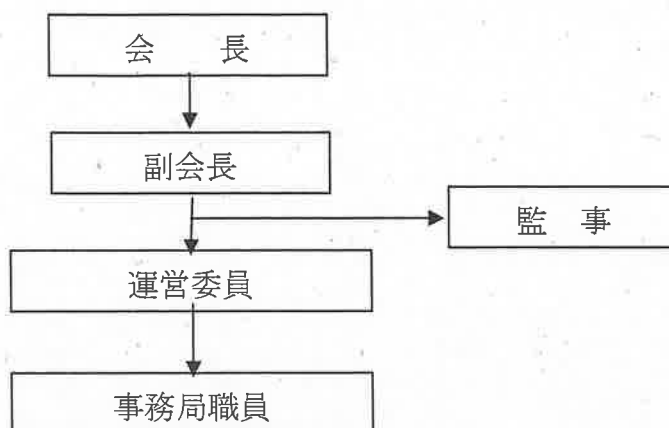
施設の駐車場が手狭で、16台の駐車スペースしかありません。イベント開催時には、近隣の空き地や小学校の駐車場(土曜・日曜のみ)をお借りし、また、できるだけ相乗りで来場していただくようお願いをしている状況です。

また、駐車場内外の誘導・安全管理は職員が行っており、イベントの受付作業、会場準備作業などで手いっぱい状況となります。

駐車場スペースについては、従来どおりの対応しか仕方がないかと考えますが、駐車場内外の誘導・安全に管理については、今後は警備会社に委託するなどして、より一層来館者の利便・安全が図れるよう対処したいと考えます。

2 組織体制・職員配置等

(1) 管理運営の組織体制を提示してください。



(2) 管理運営に係る職員配置を提示してください。

役職	担当業務内容	資格・能力等	雇用形態	勤務形態
館長	総括責任者・会計主任	甲種防火管理者 食品衛生責任者	常勤	8:30-22:00 (内 7h45min)
	管理運営補助	食品衛生責任者	非常勤	8:30-17:15
	管理運営補助	食品衛生責任者	非常勤	9:00-17:00
	管理運営補助		非常勤	8:30-17:15
	管理運営補助		非常勤	8:30-17:15
	管理運営補助		非常勤	8:30~22:00 (主に夜間利用時)

(3) 人材育成の考え方や職員の研修計画等を提示してください。

- ・ 事務局職員は、当該施設の柔軟な活用及び適切な管理運営にあたるべく、法令・条例等を熟知し、コンプライアンスの遵守に努めます。
- ・ 防犯訓練やAED使用訓練等に参加するとともに、甲種防火管理者を育成します。
- ・ 有事に備え連携を図るべく、地元の防災訓練に参加します。
- ・ 情報発信の手段として、SNSを活用できるよう当該研修・教室へ参加し、職員のスキル向上に努めます。
- ・ 地域の福祉や人権等に係る学習会へも積極的に参加します。
- ・ カフェ(喫茶)の運営にあたり、食品衛生と安全管理の徹底のため、食品衛生管理者講習を受講します。
- ・ コミュニティ活動推進のための研修会開催とともに、職員も受講することで地域づくり等への支援に努めます。

3 利用促進等

(1) 施設の利用促進に向けた具体的な取組(施設の特色を活かした自主事業の展開を含む。)及び達成目標を提示してください。

- 登録有形文化財施設としての「きのもと交遊館」の特性を活かすべく、歴史や地域文化に係る資料等の展示を行うことで、湖北の魅力を発信します。その方法として、1階ロビーを「北国街道きのもと宿まちなか休憩所」として、市民や来場者に開放します。そこでは、写真、文献、ビデオ、イベントチラシ等を活用しながら、当協議会委員や職員との交流による「おもてなし」を行い、湖北地域の特色や情報の発信を行います。
- 1階ロビーの喫茶コーナーにおいては、「交遊館カフェ」を開設し、市民や来場者の「憩いの場」となるよう努めます。
- 地元有志グループ等に調理場を無料で貸し出し、「1日カフェ」を実施します。出店の経験を積み、新たな店舗開設につながるようサポートを行います。
- 市が主催する事業や地域行事、および市民が自主的に行なうサークル活動等については、「市民力」を活かした協働社会を推進する観点から、北部地域の拠点施設としての役割を果たすため、積極的に支援します。
- 小学校・中学校の地域探訪研修等の教育の場としての活用を促進します。
- 各種研修会やイベント、セミナー等の催しにあつては、管理運営方針を踏まえ、地域のニーズに合った利用については積極的に受け入れます。

【達成目標】

年度	利用者数	積算根拠
R6年度	7,200 人	有料入館者 4,000 人(ホール 3,000 人・学習室・資料閲覧室 1,000 人) 展示入館者 1,700 人 その他無料入館者 1,500 人
R7年度	7,400 人	有料入館者 4,100 人(ホール 3,100 人・学習室・資料閲覧室 1,000 人) 展示入館者 1,800 人 その他無料入館者 1,500 人
R8年度	7,600 人	有料入館者 4,200 人(ホール 3,150 人・学習室・資料閲覧室 1,050 人) 展示入館者 1,900 人 その他無料入館者 1,500 人
R9年度	7,800 人	有料入館者 4,300 人(ホール 3,200 人・学習室・資料閲覧室 1,100 人) 展示入館者 2,000 人 その他無料入館者 1,500 人
R10年度	8,000 人	有料入館者 4,400 人(ホール 3,300 人・学習室・資料閲覧室 1,100 人) 展示入館者 2,100 人 その他無料入館者 1,500 人

(2) 地域・関係機関・ボランティア等との連携についての考え方や方策を提示してください。

- ・ 木之本宿活性化推進協議会・北国街道木之本宿景観形成重点区域協議会・イベントを実施する各種実行委員会、地域の活動を行う市民グループ等の会議にも可能な限り参画し、幅広いコミュニティ活動による交流と連携を図ります。
- ・ 地域の特性である自然・景観・歴史・町並み等について、次代に伝えられるよう、地域の学校等と連携を密にして、体験学習会や文化発表会の実施を支援します。
- ・ 奥びわ湖観光ボランティアガイド協会の活動・研修の場としての利用を促進するとともに、きのもと交遊館で行う展示案内や体験学習におけるまちなか案内等での連携を図ります。
- ・ 地場産の紹介や商店街の活性化イベント及び湖北地域をはじめ、長浜市全体の観光名所や観光イベント等の情報発進について、一層の連携を図ります。
- ・ 協働社会の推進に向け地域に潜在する「市民力」を活かしたまちづくりの促進のため、市及び市民活動団体との連携を密にします。交遊館イベントへの市民グループの協力、市民グループ実施のイベントへの支援、また、市民グループ間をつなぐ拠点として調整を行います。
- ・ 地域の防犯・防火・交通安全等の生活の安心安全のため、管内警察署及び消防署等と連携し、啓発活動等に参画します。

(3) 施設のPRや情報提供など広報活動についての効果的な取組を提示してください。

- ・ まちなかの散策に来られた方に対し、駐車場を開放し、「まちなか休憩所」としてロビーを無料開放します。また、ロビーでは、地域の情報をチラシ・マップ・ビデオ等を使って紹介し、より深く「おもてなし」を行うために可能な限り来場者との交流を持ち、施設の利便性のPRや地域の特徴を発信します。
- ・ 「木之本まちあるき MAP」を活用し、まちなか案内や商店街のイチオン商品の紹介を行います。
- ・ 「きのもと交遊館」のホームページを拡充するとともに、SNSの充実に努めます。
- ・ 市民によるまちづくり活動やコミュニティ醸成の取組みについて、「きのもと交遊館」のホームページで取り上げて、積極的に広報します。

4 サービス向上等

(1) 利用者等からのニーズの把握方法を提示してください。

- 多様化する利用者のニーズを把握するため、「きのもと交遊館」利用者に年2回のアンケート調査を行います。通常利用者に対し、施設の利便性、利用料、スタッフの対応等について、また、イベント時の来場者に対し、イベント内容や地域の感想等のアンケート調査を実施します。
- その他、市民や来場者との交流・ふれあいのなかでの「一言」を日誌等に記録し、利便性の向上や利用者のニーズへの対応を図ります。

(2) 利用者等からの苦情等に対する対応について提示してください。

- 常に例規等との整合を意識し、コンプライアンス遵守の下で、処理にあたります。
- 苦情・クレーム等についての対応マニュアルを作成することで、危機管理の徹底に努めます。
- 苦情等の情報は、スタッフが共有し、対応の均一化を図ります。
- 急を要するものは、原則として即時、現場において対応するものの、その記録を運営委員会で報告し、再発の防止策を検討します。

(3) その他サービスの質を維持・向上するための取組について提示してください。

- 運営委員会を定例で開催し、適正な施設管理や課題解決について、委員の意見を聴取し、共通理解のもとで改善に向けた取組を実践します。
- 施設利用者の利便性を考え、事前に可能な準備を行い、施設環境を整えておくことで当日利用の効率化を図ります。
- スタッフ人員に限りのあることから、申込みや問合せ等について、不在や不通とならないように勤務や作業等のスケジュール管理を徹底します。
- 施設利用者からの相談、電話での問合せ等について、スタッフ全員がより質の高い対応ができるよう、日々のミーティングなど事務局運営を充実させます。
- スタッフ一同が、常にサービスの向上をめざし、「おもてなし」をモットーに業務にあたります。

5 施設の管理運営等

(1) 施設の管理運営における経費節減のための取組について提示してください。

- ・ 館内の空調の温度設定の管理を徹底し、空調設備の点検・清掃に努めます。照明は、蛍光灯交換時にLEDへ切り替えを図り、消費電力の削減を図ります。
- ・ 事務室のパソコンやプリンターの事務機器について、可能な限り待機電力等を抑制するべく、こまめな電源管理に努めます。
- ・ 夏季においては、グリーンカーテンとなる植栽を取り入れ、室内温度の上昇を抑制することで電力ピーク時の節電に貢献します。
- ・ コピー用紙は、可能なかぎり両面を利用し、事務経費の節減に努めます。

(2) 利用料金の設定及び設定根拠について提示してください。

区分	単位	使用料(税抜き)	利用料金(案)
学習室	1時間	480円	500円
資料閲覧室	1時間	480円	500円
ホール	1時間	960円	1,000円

(利用料金の設定根拠)









長浜市地域活性化施設条例に基づく。

(3) 維持管理業務(清掃・保守点検・警備等)の内容、方法、頻度、今後の修繕計画等について提示してください。

- ・ 「きのもと交遊館」は開設後17年を超えていることから、施設の維持管理における日々の清掃及び保守点検については、より丁寧に、より細かに行うことで、施設の老朽化を防ぎ、施設の環境美化と安心安全を維持することに努めます。
- ・ 休館日及び夜間における施設警備は、警備会社に委託します。
- ・ 閉館時は、施錠、消灯、防火について指差し呼称確認を徹底し、防犯・防火等に努めます。
- ・ 防火管理者を定め、防火管理選任届出及び消防計画を消防署に提出します。
- ・ 施設の消防設備の法定点検は、関係法令に従い年2回実施します。
- ・ 日々の点検により修繕等の必要が生じた場合は、大規模修繕に至るまでに早期の手当てを講じます。

維持管理業務内容・工程について 別紙のとおり

きのもと交遊館維持管理業務年間作業計画表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日常室内清掃	基本毎日(職員) 											
日常トイレ清掃	基本毎日(職員) 必要に応じ適宜実施 											
施設警備	夜間・休館警備(業者委託) 											
自火報点検		定期点検(業者委託) 						定期点検(業者委託) 				
施設定期点検					定期点検(直営) 						定期点検(直営) 	
施設定期清掃									定期清掃(直営) 			

6 その他

(1) 利用者の個人情報を保護するための取組を提示してください。

- ・ 長浜市個人情報保護条例の規定を遵守し、個人情報の漏えい、滅失又はき損の防止の為、PC等のロック機能の使用によるセキュリティ対策、事務所・ロッカーの施錠等を徹底し盗難対策に努めます。
- ・ 業務遂行において知り得た情報については、守秘義務を遵守します。
- ・ 不要となった個人情報を記した書類は、シュレッダー処理した上で廃棄します。
- ・ ネットなどによる情報流出防止のため、ウイルス対策ソフト等については常に更新し、最新のセキュリティ環境を維持します。

(2) 施設の管理運営における環境に配慮した取組を提示してください。

- ・ コピー機の使用に当たり、両面使用を基本とし、用紙は再生用紙を使用します。
- ・ ゴミの種類にあわせて、それぞれゴミ箱を設置し、資源のリサイクルの徹底に努めます。
- ・ 空調機器は省エネ運転を行い、夏季の冷房については、室温28℃、冬季の暖房については20℃を保つように設定し、クールビズ・ウォームビズを実践します。
- ・ 夏季は、グリーンカーテンによって冷房効果をアップさせるとともに、景観上も涼しい環境を演出します。
- ・ 日々、施設内外の美化に心がけ、まちなみの景観環境とのマッチングに努めます。

(3) 防災、防犯その他緊急時(災害・事故等)の対応及び危機管理体制について提示してください。

- ・ 危機管理業務においては、非常災害・事故等の緊急事態発生時に備える管理体制を整備し、緊急連絡網を市に報告し、災害時の関係機関への連絡等を速やかに遂行し、避難・救出等を迅速に行います。定期的に避難、人命救助(AED含む)、初期消火訓練を実施します。
- ・ 地元自治会の開催する防火訓練、防災訓練には積極的に参加し、地域における防火、防災および防犯の取組みとの連携を密にします。

(4) 同様・類似の業務の実績等があれば、記入してください。

- ・ 特になし

7 自由提案

その他施設の管理運営業務を効果的・効率的に推進していくために提案したいこと、貴団体の独自性やアピールしたいことがあれば、記入してください。

- ・ K-ZOHN運営協議会は、地元の商業関係の2団体と長浜市商工会の3団体で構成するもので、商工業や観光事業のノウハウなどをもつ組織です。そのため、単に施設管理の運営にとどまらず、北部地域という枠組みのなかで、商工業・観光振興および地域振興という観点での事業を展開します。

きのもと交遊館の指定管理を機に、この施設を地域活性化の拠点施設のひとつとなるよう、それぞれの構成団体の持ち味を活かしながら、自主的に地域に即した事業を組み立て、実践していくことで、北部地域の振興に大きく寄与することを目指します。

- ・ 地元の学校とともに、歴史、自然、街並み等の地域探訪の学習会を継続して企画、運営します。将来を担う子どもたちが、地域の良さを学ぶことにより、定住意識が向上し、地域コミュニティの維持に繋がるよう努力します。

- ・ 1階ロビーを「まちなか休憩所」として開放、「交遊館カフェ」を開設し、地元住民や観光来場者の憩いの場とし、おもてなしを行います。また、ホールを活用して開催される観光イベント時には、地元有志グループ等に調理場を無料で貸出し、「1日カフェ」を運営していただきます。メニューの考案、食材の調達、調理、接客、価格設定等一連の作業を経験することにより、地域イベントの屋台出店や新たな店舗開設につながるようサポートします。

- ・ 平成28年度から行っている「交遊館まちなかふれあいコンサート」を継続して実施します。

「交遊館まちなかふれあいコンサート」は、県内外のプロ(一部セミプロ)の演奏家と、交遊館を利用し練習を行っている音楽グループによる演奏会です。令和元年度までに6回実施し、回を重ねるごとに地元住民にも定着してきました。新型コロナウイルスの感染拡大により令和2年度からは休止となっていましたが、令和5年度より再開します(12月実施予定)。演奏する音楽グループの励みにもなり、また、その演奏を楽しみにしている方も増えてきており、今後、プログラムの内容を工夫し、お客様と出演者のふれあいがより一層深まるコンサートを行います。

- ・ 平成25年度に「きのもと交遊館」の指定管理を受けてから、多くの地元住民、市民活動グループとかかわりを持ってきました。特に平成28年度以後は、より深いつながりを持っています。

交遊館イベントの「まちなかふれあいコンサート」、「懐かしの郷土料理」、「ローズガーデンイベント」等は、関係グループが企画段階から関わりを持ち、ともにイベントをつくり上げました。また、会場装飾やディナーショー等の食事・喫茶等で協力を得た個人や団体も複数あります。また、ぐるぼ市、きのもと塾、木之本地区地域づくり協議会等の市民活動グループ主催のイベントへの支援も多く行ってきました。

今後これら個人やグループとのつながりを大切に、より一層広げていくことにより、K-ZOHN運営協議会と各個人やグループとのつながりだけでなく、それぞれのグループをつないでネットワークが作れるよう、きのもと交遊館がその拠点となり「市民力」を高めていきます。

収支計画書(総括表)

(単位:千円)

1 収入

科目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	合計
指定管理料	5,530	5,530	5,530	5,530	5,530	27,650
利用料金収入	765	780	795	810	825	3,975
その他の収入	730	730	730	730	730	3,650
小計(指定管理業務)	7,025	7,040	7,055	7,070	7,085	35,275
自主事業収入	282	282	282	282	282	1,410
合計	7,307	7,322	7,337	7,352	7,367	36,685

2 支出

科目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	合計
人件費	3,826	3,826	3,826	3,826	3,826	19,130
維持管理費	1,922	1,934	1,934	1,946	1,946	9,682
修繕費	200	200	200	200	200	1,000
その他の支出	1,129	1,132	1,147	1,150	1,165	5,723
小計(指定管理業務)	7,077	7,092	7,107	7,122	7,137	35,535
自主事業費	230	230	230	230	230	1,150
合計	7,307	7,322	7,337	7,352	7,367	36,685

収支計画書(年度別内訳表)

年度	令和6年度(令和6年4月1日～令和7年年3月31日)
----	----------------------------

1 収入

(単位:千円)

科目	金額	積算根拠等
指定管理料	5,530	
利用料金収入	765	ホール ¥1,000×625h 学習室・資料閲覧室 ¥500×280h
その他	730	地域活動事業イベント ¥100,000 コピー料金 ¥30,000 まちなか再生事業電気代・通信費 ¥600,000
小計(指定管理業務)	7,025	
自主事業収入	282	自販機販売手数料 ¥72,000 「交遊館カフェ」売上 ¥100×500 杯 自主事業イベント ¥1,000×80 名×2 回
合計	7,307	

2 支出

科目	金額	積算根拠等	
人件費	3,826	臨時職員 3 名分、施設管理手当	
維持管理費	光熱水費	1,141	電気代 ¥960,000 上下水道 ¥51,000 ガス代 ¥60,000 燃料費 ¥70,000
	通信費	268	電話代・Wifi 利用料等
	委託費	168	館内警備保障 ¥108,000 消防設備点検 ¥60,000
	消耗品費	100	管理用消耗品
	建築設備定期点検	120	
	その他	125	NHK受信料、ピアノ調律費、除雪費
	計	1,922	
修繕費	200		
事務費	664	事務用消耗品、通信費、保険料、使用料等	
事業費	465	地域活動費 ¥400,000 施設責任賠償保険等 ¥65,000	
小計(指定管理業務)	7,077		
自主事業費	230	「交遊館カフェ」材料費 ¥30,000 自主事業イベント ¥200,000	
合計	7,307		

収支計画書(年度別内訳表)

年度	令和7年度(令和7年4月1日～令和8年3月31日)
----	---------------------------

1 収入

(単位:千円)

科目	金額	積算根拠等
指定管理料	5,530	
利用料金収入	780	ホール ¥1,000×635h 学習室・資料閲覧室 ¥500×290h
その他	730	地域活動事業イベント ¥100,000 コピー料金 ¥30,000 まちなか再生事業電気代・通信費 ¥600,000
小計(指定管理業務)	7,040	
自主事業収入	282	自販機販売手数料 ¥72,000 「交遊館カフェ」売上 ¥100×500杯 自主事業イベント ¥1,000×80名×2回
合計	7,322	

2 支出

科目	金額	積算根拠等	
人件費	3,826	臨時職員 3名分、施設管理手当	
維持管理費	光熱水費	1,153	電気代 ¥972,000 上下水道 ¥51,000 ガス代 ¥60,000 燃料費 ¥70,000
	通信費	268	電話代・Wifi 利用料等
	委託費	168	館内警備保障 ¥108,000 消防設備点検 ¥60,000
	消耗品費	70	管理用消耗品
	建築物定期点検	150	
	その他	125	NHK受信料、ピアノ調律費、除雪費
	計	1,934	
修繕費	200		
事務費	664	事務用消耗品、通信費、保険料、使用料等	
事業費	468	地域活動費 ¥403,000 施設責任賠償保険等 ¥65,000	
小計(指定管理業務)	7,092		
自主事業費	230	「交遊館カフェ」材料費 ¥30,000 自主事業イベント ¥200,000	
合計	7,322		

収支計画書(年度別内訳表)

年度	令和8年度(令和8年4月1日～令和9年年3月31日)
----	----------------------------

1 収入

(単位:千円)

科目	金額	積算根拠等
指定管理料	5,530	
利用料金収入	795	ホール ¥1,000×645h 学習室・資料閲覧室 ¥500×300h
その他	730	地域活動事業イベント ¥100,000 コピー料金 ¥30,000 まちなか再生事業電気代・通信費 ¥600,000
小計(指定管理業務)	7,055	
自主事業収入	282	自販機販売手数料 ¥72,000 「交遊館カフェ」売上 ¥100×500 杯 自主事業イベント ¥1,000×80 名×2 回
合計	7,337	

2 支出

科目	金額	積算根拠等	
人件費	3,826	臨時職員 3名分、施設管理手当	
維持管理費	光熱水費	1,153	電気代 ¥972,000 上下水道 ¥51,000 ガス代 ¥60,000 燃料費 ¥70,000
	通信費	268	電話代・Wifi 利用料等
	委託費	168	館内警備保障 ¥108,000 消防設備点検 ¥60,000
	消耗品費	100	管理用消耗品
	建築設備定期点検	120	
	その他	125	NHK受信料、ピアノ調律費、除雪費
	計	1,934	
修繕費	200		
事務費	664	事務用消耗品、通信費、保険料、使用料等	
事業費	483	地域活動費 ¥418,000 施設責任賠償保険等 ¥65,000	
小計(指定管理業務)	7,107		
自主事業費	230	「交遊館カフェ」材料費 ¥30,000 自主事業イベント ¥200,000	
合計	7,337		

収支計画書(年度別内訳表)

年度	令和9年度(令和9年4月1日～令和10年3月31日)
----	----------------------------

1 収入

(単位:千円)

科目	金額	積算根拠等
指定管理料	5,530	
利用料金収入	810	ホール ¥1,000×655h 学習室・資料閲覧室 ¥500×310h
その他	730	地域活動事業イベント ¥100,000 コピー料金 ¥30,000 まちなか再生事業電気代・通信費 ¥600,000
小計(指定管理業務)	7,070	
自主事業収入	282	自販機販売手数料 ¥72,000 「交遊館カフェ」売上 ¥100×500杯 自主事業イベント ¥1,000×80名×2回
合計	7,352	

2 支出

科目	金額	積算根拠等	
人件費	3,826	臨時職員 3名分、施設管理手当	
維持管理費	光熱水費	1,165	電気代 ¥984,000 上下水道 ¥51,000 ガス代 ¥60,000 燃料費 ¥70,000
	通信費	268	電話代・Wifi 利用料等
	委託費	168	館内警備保障 ¥108,000 消防設備点検 ¥60,000
	消耗品費	100	管理用消耗品
	建築設備定期点検	120	
	その他	125	NHK受信料、ピアノ調律費、除雪費
	計	1,946	
修繕費	200		
事務費	664	事務用消耗品、通信費、保険料、使用料等	
事業費	486	地域活動費 ¥421,000 施設責任賠償保険等 ¥65,000	
小計(指定管理業務)	7,122		
自主事業費	230	「交遊館カフェ」材料費 ¥30,000 自主事業イベント ¥200,000	
合計	7,352		

収支計画書(年度別内訳表)

年度	令和10年度(令和10年4月1日～令和11年年3月31日)
----	-------------------------------

1 収入

(単位:千円)

科目	金額	積算根拠等
指定管理料	5,530	
利用料金収入	825	ホール ¥1,000×665h 学習室・資料閲覧室 ¥500×320h
その他	730	地域活動事業イベント ¥100,000 コピー料金 ¥30,000 まちなか再生事業電気代・通信費 ¥600,000
小計(指定管理業務)	7,085	
自主事業収入	282	自販機販売手数料 ¥72,000 「交遊館カフェ」売上 ¥100×500杯 自主事業イベント ¥1,000×80名×2回
合計	7,367	

2 支出

科目	金額	積算根拠等	
人件費	3,826	臨時職員 3名分、施設管理手当	
維持管理費	光熱水費	1,165	電気代 ¥984,000 上下水道 ¥51,000 ガス代 ¥60,000 燃料費 ¥70,000
	通信費	268	電話代・Wifi 利用料等
	委託費	168	館内警備保障 ¥108,000 消防設備点検 ¥60,000
	消耗品費	70	管理用消耗品
	建築物定期点検	150	
	その他	125	NHK受信料、ピアノ調律費、除雪費
	計	1,946	
修繕費	200		
事務費	664	事務用消耗品、通信費、保険料、使用料等	
事業費	501	地域活動費 ¥436,000 施設責任賠償保険等 ¥65,000	
小計(指定管理業務)	7,137		
自主事業費	230	「交遊館カフェ」材料費 ¥30,000 自主事業イベント ¥200,000	
合計	7,367		